

MIU教育学部 News Letter

No.
35

見たことのない景色を見て、見たことのない自分に出会う

教育学部長メッセージ



100%合格率—その先へ

教育学部長 河原 国男

令和7年度教員採用試験(教採)合格率100%は見事でした。図書館の学習室で、他県の受験者も含めて、教採2次試験に向かっていた22名は、誰一人脱落せず、最後の最後まで努力してきました。模擬受験、個人面接、英会話、それぞれの場面で奮闘してきました。

2次試験(7月26日)が始まる数日前に、最後の「グループワーク」がありました。そのワークは、これまで互いに励まし合ってきた仲間の絆を再確認するような内容であったことが印象的でした。その終了時、最後の締めくくりに私は学生達を讃えました。低倍率であっても、決して、課題を見くびることなく、集中的に努力し、そして互いに激励し合いながら奮闘してきた、その姿勢は素晴らしかった、と。

この成果は、学生一人一人の粘り強い努力に加え、学部の先生方全員による継続的な指導と支援の積み重ねの結果です。このことは、私たちにとって大きな喜びでした。同時に「上位を目指せ」というメッセージと、「その先をどう見据え、どう進むか」という問いを改めて考えさせられました。

後期授業が始まった10月3日(金)の午後、3号館4階の隣合う教室で、印象的な2つの「学び」の光景がありました。

ひとつは、3年生を対象にして始まった「教養基礎力セミナー」です。このセミナーでは、自宅での自学とその振り返りを丁寧に確認し、学習習慣を定着させることに重きを置いています。中学校での学力指導の現場を経験し、教育心理学の専門的知見(自己調整学習)をもつ田上先生がリードされています。

もうひとつは、保育実習報告会です。幼保コースの3・4年生が、ポスターセッション形式で発表を行い、後輩たちに実習での学びを語っていました。例えば、福祉施設での実習を経験した学生の一人は、里親のもとへ利用者が旅経つ場面に立ち会い、「別れの寂しさのなかにも、新しい家庭での生活が安定とつながりを築く一歩になると感じた」と、語っていました。

キャンパス内での「学び」とは必ずしも同一ではない貴重な体験的「学び」が加わることで、どのように、「その先」が見えてくるか、一つ一つ関連付けながら、問い続けなければならないでしょう。



学生教職支援センターより

教育学部特任講師 杉田 康之

【公立学校教員採用試験 教育学部現役合格率100パーセント!!】

「力はあるもの 出せるもの」これは教員採用二次試験対策講座の開講式において、山下恵子学長が羽仁もと子氏の言葉を引用して学生に贈られた力強いエールです。受験生はその言葉を体現するかのように自らの力を最大限に発揮し、全員が「内定」という栄誉を勝ち取りました。学生教職支援センターでは早期から「現役合格」を目指し、受験自治体の試験内容に沿った対策講座を計画してきました。

【現役学生合格者】

宮崎県小学校	教育学部 21名
福岡県小学校	教育学部 2名
熊本県小学校	教育学部 1名
沖縄県小学校	教育学部 1名

【卒業生合格者】

宮崎県小学校	教育学部 1名
宮崎県高等学校(英語)	国際教養学部 2名

【前倒し受験(3年生)合格者】

宮崎県小学校	教育学部 5名
福岡県小学校	教育学部 2名

※前倒し受験：令和9年度採用候補者を選考する試験(一次試験教職教養のみ)



具体的には、3年生の時から一次試験までに121回の講座を実施しました。一次試験受験後には「面接」「模擬授業」「英会話」「グループワーク」など二次試験に直結する内容について、少人数によるきめ細かな指導を実施しました。

今後は、さらに学習指導や生徒指導、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応、ICTや情報・教育データの利活用など、多様な課題に応えられる力を身に付け、「教師力」を存分に発揮して輝き続ける教師を目指すことになります。



★公立学校教員採用試験に合格しました★



一緒に頑張った4年生のなかから、代表して3人の方にインタビューしました。



教育学部4年 左から

淵脇 涼太 (宮崎南高等学校)

青木 美鈴 (宮崎北高等学校)

藤原 百花 (宮崎西高等学校)

後輩の皆さんへメッセージ

仲間や信頼できる先輩、本気で向き合ってくれる先生方がいます。みんなで支え合いながら頑張ってください！応援しています！

★試験対策はいつ頃から？

・3年生の12月頃から始め今年の2月から集中的に勉強した

★勉強時間や勉強の方法は？

・大学の対策講座に全出席 ・オリジナルの模試を作成し皆で解く
・50分集中ー15分休憩の1セットを数セット ・平日は3・4時間、休日でも大学で6〜8時間勉強 ・過去問をゴールを決めて解く

★2次試験【模擬授業】

・発問の仕方や興味の惹きつけ方の工夫 ・板書の練習
・書き順を見直す ・友人と客観的にアドバイスし合う
・先生方の意見を真摯に受け止め改善に活かす

★2次試験【グループワーク】

・相手の話を傾聴する姿勢 ・多くの情報収集など事前準備
・友人との練習で自分の癖を改善し、他人の良い部分を取り入れる
・他の意見を引き出し、深め、広げる発言

★2次試験【面接】

・過去問を繰り返し練習 ・堂々とした話し方や表情も大切
・面接練習を動画に撮り見てもらう ・人前で話すことに慣れる

☆勉強以外で大事なことは？

・教育に関するニュースや社会情勢の把握 ・日常会話程度の英会話力 ・自分なりのリフレッシュ方法を確立

☆モチベーションの維持法は？

・自分の夢を本気で語れる友人の存在 ・進路実現への強い想い
・教育実習で児童からもらった文集を見返す



★教育学部3年生 前倒し受験（チャレンジ受験）に

合格しました！★

代表して2人の方にインタビューしました。



左から

川崎 真奈香 (延岡学園高等学校)

津曲 雛菜 (宮崎大宮高等学校)



★チャレンジ受験を考えたのは？

・1次試験(教職教養)に合格して教育実習に臨みたいという想い
・教員として働くときに、今回学んだ知識が活かせる

★頑張ったことは？

・大学の講義や課題との両立 ・対策講座に全出席

★勉強時間や勉強の方法は？

・直前は1日5〜8時間 ・過去問を解き苦手分野や問題を見つける
・教職教養のYouTube動画を見て勉強

☆試験勉強以外で大事なことは？

・大学の講義をきちんと受ける ・集中とリラックスのメリハリをつける

☆今の気持ちは？

・嬉しさと達成感 ・知識だけでなく実践力を身に付け教育実習に向かいたい
・2次試験に向け先輩の後に続けるよう勉強したい

チャレンジ受験を考えている後輩へのメッセージ！

大変だという気持ちはわかりますが、合格すると自信がつき、先生になりたいという想いが一層強くなります。チャレンジ受験という名前の通り、前向きにチャレンジしてほしいです！



公務員採用試験に合格しました！



教育学部4年 田原 杏夏

(宮崎北高等学校)



教育学部4年 田中 杏優

(宮崎北高等学校)

私は、宮崎市職員採用試験の保育士・幼稚園教諭枠を受験しました。試験内容は、専門職も一般行政枠も全て同じで、一次試験としてSCOA、録画面接、二次試験のWeb面接、最終試験が対面での個別面接で行われました。一次試験の勉強は、一般行政枠を受験する友達や、教員採用試験を受ける友達と一緒に勉強し、励まし合い、教え合いながら乗り越えました。面接対策では、キャリアセンターの方や福田先生から、過去問や宮崎市の子育て支援施策などについての資料を頂き、それをもとに対策をしました。1人で試験勉強するのではなく、方向性は異なるけれど一緒に勉強してくれる仲間がいたからこそ、大変な時期も楽しみながら勉強に打ち込めたのだと思います。この経験を通して、試験を乗り越えた自信ができました。また、辛い時にこそ励まし合い、一緒に頑張れる友達がいることが、どれほど尊いものなのか、改めて気づかされました。春からは、保育者として日々学びながら、子ども達と共に成長していけるよう精一杯頑張っていきたいと思います。

私は一般行政職枠の公務員を目指す中で、宮崎県内外のいくつかの自治体を受験しました。1次試験は全自治体テストセンターで行われるWebテストで受験し、多いところでは4次試験までありました。1次試験は様々なWebテストの中から、受験する自治体などのテストを使用するか調べ参考書を活用し勉強しました。私が本格的に始めたのは大学3年の3月からですが、できるだけ早くから準備を行うことを勧めます。1人で勉強する時間のほかに、公務員を目指す友人と一緒に考えたり教え合ったりする時間も大切にしました。同じ目標を持ち、同じ熱量で努力する友人の存在はとても大きいものでした。また、2次試験以降は大学の先生が自治体の施策や課題などをまとめた資料をくださり、それを元に面接練習をしました。また、面接を想定した質問集を頂き、自分で解答集を作り添削してもらいなど、大学での試験対策も効果的に受けることができました。早めに対策を行い、可能な援助を存分に受けることが合格の鍵なのではないかと思っています。

栄養会（7/4）－教員採用試験に向かう先輩方にエールを－



教育学部2年
安藤 青空
(延岡学園高等学校)

7月4日、教員採用試験を控える先輩方を応援し、感謝を伝えるための「栄養会」が開催されました。約20名の2年生有志で企画・運営し、山本先生、城戸先生、杉田先生の支援のもと、流しそうめんや天ぷら、フルーツポンチ、おにぎりを用意しました。天ぷらの材料には、4年の先輩の家庭で大切に育てられた野菜を頂きました。苦労しましたが、皆つまみ食いするほど美味しく調理できました。そうめん流しでは「楽しい!」という声が響きました。普段は厳しい顔で勉強に励む先輩方ですが、この日は素敵な笑顔が見られ、私たちも嬉しく感じました。最後に先輩方の決意を語る時間では、努力を重ねた先輩方の引き締まった顔つきや言葉の重みに憧れを感じ、「背中中の教育」という言葉の意味を改めて実感しました。私たちも将来、立派な教師になれるよう頑張りたいと強く思いました。



科学でワクワクを届ける－2025年夏のアウトリーチ活動－

教育学部副学部長・教授 坂倉 真衣

(理科教育・サイエンスコミュニケーション研究室)

part 1. 「光の研究」(7/15)

清武みどり幼稚園に【はかせ】がやってきた!!

年中児・年長児が日常生活で抱いた「光」に関する様々な疑問、その純粋な質問に答え、「虹色ボックス（分光器）」を作り、改めて光の観察をしました。「どうして光は白色なの?」といった本質的な問いも飛び出し、虹色ボックスを覗き込む子どもたちのキラキラした表情に、私自身も大きな刺激を受けました。



part2. 「MIUサイエンスカフェ」(8/30)

開催協力「MUKASA Coffee & Roaster (宮崎市高岡町)」

この活動は昨年度からの取り組みで、学生が「サイエンスコミュニケーター」として小学校理科につながるプログラムを展開しているのが特徴です。今回は教育学部4年生の後藤妃万里さんが企画から運営までを担当し、「ウイルスと人間の関係って!?～命の大切さを考えよう～」をテーマにスマートフォン顕微鏡を使った細胞観察やリトマス紙の実験等を取り入れました。子どもから大人まで夢中になって取り組み、「ウイルスとは何か」「生きているとはどういうことか」といった問いを語り合う姿が印象的でした。後藤さん自身も、ゼロから学習プログラムを構成する経験を通して大きく成長したように感じます。



「科学を身近に!」を合言葉に、もっと多くの人を楽しんでほしいと想い、これからも坂倉研究室は科学の魅力を伝え、日常を科学の眼差しで楽しむ体験を届けていきます。ぜひご参加ください!

幼保

幼保学生の学びをご紹介します

- ◆子どもに出会う
- ◆保育のいとなみに出会う
- ◆子どもを取り巻く諸問題に向き合う



忍ヶ丘保育者塾に参加して
教育学部2年 八田 瑞希
(宮崎北高等学校)

県のこども施策と保育士の就労支援について、貴重なお話を伺うことができました。県職員の方々は、人口の推移や子育て家庭の現状を丁寧に分析したうえで、支援を必要とする人々に対して的確に働きかけられていました。施策の内容を詳しく見ていくと、子どもを社会の中心に据えた仕組みづくりを目指していること、そして大人のライフステージの変化に応じた支援にも力を注いでいることが伝わってきました。また、ライフステージの変化が生じた場合も、保育者として現場で働き続けることができるように、相談者の希望に合わせて就労支援が行われているのが印象的でした。このことから、保育者は社会を支える大切な職業であることを再確認しました。今後も、現場の声と大学での学びを繋げながら、幅広い知識を実践に活かすことができる保育者を目指していきたいです。



保育実習Ⅰb(施設実習)に参加して
教育学部3年 原 夏希
(宮崎商業高等学校)

私は乳児院での施設実習に10日間参加し、日々の生活を通して子どもたち一人ひとりと関わることの大切さを学びました。まだ言葉を話せない子どもも多く、泣き声や表情、しぐさから気持ちをくみ取ることの難しさと同時に、通じ合えた時の喜びを感じました。また、職員の方々が健康状態や生活の様子を細かく記録し、チームで共有している姿から、子どもの安心と成長を支える保育の専門性を実感しました。この経験を通して、「一人の人として子どもに向き合う」姿勢の大切さを学び、今後の学びや実践に生かしていきたいと感じました。

保育者養成実践講座

音付け絵本

山下恵子学長先生より、音付け絵本のいろはを学びました。
実際に音付け絵本を子どもたちと楽しみたいです！

- ・絵本に音をつける時とつけない時の違いはある？
- ・音をつけることで何が伝わってきた？ など、さまざまなことを体験をベースにして考えました。



『ぞうくんのさんぽ』(なかのひろたか作/福音館書店)の音付け絵本

後期からは1年生も加わり新たな風が吹き込まれました。学年を超えこれからも共に学び合い、経験を重ね、成長していきます。



のはらうた
「たからもの」 からすえいぞう
きらきら かがやくものが すきです
みついたら だいに もってかえり
たからものにします
ああ きょうの ゆうやけは
とびきりの きらきらだ
でも もってかえれないから
こころのなかに しまっておこう

工藤直子『のはらうた わっはっは』(童話屋)より

造形表現ワークショップ



自分の手と対話をしていたら...
何かの動物が見えてきた...!?
感じたままに絵の具で描いてきました。



山本辰典先生との造形表現ワークショップ。
自分の感覚を解きほぐし、感性を磨きます！

イベント情報

宮崎国際大学に行こう！ 週末キャンパス見学会＆相談会

開催日程

1月24日(土)
2月14日(土)

10:00スタート12:00終了予定

イベントは予約制です。
本学のホームページより
申し込みをお願いします。

わかる！

1 大学を理解することができ！

初めてでも安心！
大学の概要から学部の詳細まで
詳しく説明します。

どんな大学？
しっかり理解できる！



役立つ！

2 対策講座で入試の準備ができる！

英語面接の受け答えや小論文の
書き方など、担当教員が丁寧に
指導します。

自信をもって
受験に挑める！



聞ける！

3 個別に入試等の質問ができる！

気になる入試や学費について、
特待制度についてなど、個別に
質問することができます。

保護者の方と
一緒に質問しよう！



こんな方にぴったりのイベント！

- ✓ オープンキャンパスへ行けない
- ✓ 受験に向けた対策がしたい
- ✓ 個別に相談や見学がしたい

